

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備事業		路河川名等	(国)148号			
事業毎の通番	14	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	借馬～木崎(かま～きざき)		
事業目的	当箇所は交通量が多いが、歩道が設置されておらず路肩が非常に狭いため、通行する歩行者が危険にさらされている。歩行者の安全を確保するために、歩道の設置が望まれている。当工区の南側までは平成21年までに歩道が整備されており、引き続き歩道を整備したい。						
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律				
関連する事業、計画等	通学路緊急合同点検						
保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益対象(不特定多数) 現況交通量:9,209台/日						
着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	その他 県債 一般財源		
全体事業内容(主な工種)	歩道工 L=1,100m W=2.5m			400,000	240,000 144,000 16,000		
年度事業内容(主な工種)	用地測量 一式 用地補償 一式			10,000	6,000 3,600 400		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的) ・歩道の設置による歩行者の安全性確保 ・通学路危険箇所の解消(H24通学路緊急合同点検) 間接的効果(定量的・定性的) ・交通の円滑化を図ると共に、安全で安心して通行できる道路を整備することで、既存集落の人口流出抑制及び定住化を図る。						
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 9,209台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 歩行者 3人/日、自転車 2台/日(H22交通センサス)			評価	B	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検) ○緊急輸送道路の路線指定 : 緊急輸送道路(1次)に指定			評価	A	
	効率性	○事業期間 : 4年間(H27～H30)			評価	B	
	緊急性	○近年の交通事故件数 : ※近年分照会中。 ○通学路対策 : 緊急合同点検を踏まえた対策箇所 ○現況の歩道幅員 : 歩道なし			評価	C	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H25.9.19に説明会開催) ○地域の取り組み : 協力的(毎年、大町市を通じて地元地区より歩道設置の要望あり) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民関与が低い			評価	C	
	部意見	交通量が多く箇所が歩道がなく、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	行政改革課意見	通学路に指定されているが歩道中抜け区間である。交通量も多いことから、重要性が認められる。	評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図

全体計画 歩道工  
L=1,100m W=2.5m  
H27 用測・用補 1式

標準横断

【整備の必要性がわかる状況写真等】

現況写真 計画歩道位置

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当工区は、歩道がなく路肩も狭いため、歩行者や自転車の通行の際に危険がある。当工区北側・南側ともに歩道が整備されており、中抜け区間解消のため、歩道を整備していきたい。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、大町市を通じて地元地区より歩道設置の要望が出されている。
③事業説明等の経緯	大町市と現地調査を実施して、調整を図っている。また、平成25年度には測量立ち入りの際に住民説明会を行った。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	特になし
⑥地域活性化への影響と配慮	特になし
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度

北緯:N	36°31'50.44
東経:E	137°50'52.72